



※「千葉市ナイトタイムエコノミー推進支援制度」は東京2020公認プログラムの認証を取得しています。

審査要領

＜中大規模応募枠（補助申請額100万円以上）対象事業＞

（千葉市ナイトタイムエコノミー推進支援制度に基づき審査します。）

1 目的

千葉市ナイトタイムエコノミー推進支援制度応募事業の審査に関する事項を次のとおり定める。

2 審査方法

(1) 審査は、千葉市ナイトタイムエコノミー推進審議会（以下「審議会」という。）が、審査基準に基づき、提出書類とプレゼンテーション及びヒアリングの内容を審査する。

なお、令和3年度新規応募事業と前年度支援事業の区別は行わない。

(2) 評価項目ごとに審議会の委員（以下「委員」という。）が評価を行う。

(3) 各委員の評価点の合計が一番多い事業から順に支援を決定し、予算上限に達し次第終了する。

(4) 予算上限に達したときの応募事業について、補助金交付額は予算残額を上限額とする。

3 審査基準

評価項目及び評価の着眼点は次のとおりとする。

|   | 評価項目    | 評価の着眼点<br>(主として評価する内容)   | 配点 |
|---|---------|--|----|
| 1 | 実現性     | <ul style="list-style-type: none"> <li>安全・安心</li> <li>新型コロナウイルス感染症拡大防止対策</li> <li>運営体制</li> <li>スケジュール</li> <li>類似事業実績</li> <li>地域の事業者の巻き込み</li> <li>オンライン配信の環境整備内容</li> </ul> | 30 |
| 2 | 継続性     | <ul style="list-style-type: none"> <li>運営費の拠出方法(協賛金収入以外の収益源を確保しているか)</li> <li>開催日数、次年度の取組み</li> <li>夜間開催を含む将来の継続につながる内容か</li> </ul>  | 15 |
| 3 | プロモーション | <ul style="list-style-type: none"> <li>ターゲット(ターゲット設定は的確であるか)・コンセプト</li> <li>プロモーション方法、内容(ターゲットに届く効果的なプロモーションとなっているか)</li> </ul>  | 10 |

|    |            |  |     |
|----|------------|--|-----|
| 4  | 企画力        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域性（千葉市ならではか）</li> <li>・場や空間の魅力を活かしているか</li> <li>・オンラインの活用等新たな取り組み</li> <li>・将来のナイトタイムエコノミー推進につながる発展性があるか</li> </ul> | 10  |
| 5  | 消費につながる仕組み | <ul style="list-style-type: none"> <li>・消費につながる仕組み</li> <li>・地域への経済波及効果（開催場所周辺の事業者や店舗へ好影響を与えられるか）</li> <li>・複数の消費喚起方法</li> </ul>                             | 20  |
| 6  | 魅力的な景観の形成  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・景観整備内容</li> <li>・公共性</li> <li>・夜間以外の事業開催にあつては、非日常的な演出や景観・環境整備等をしているか</li> </ul>                                      | 10  |
| 7  | 提案全体       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・プレゼンテーションでの対応など</li> <li>・提案全般の魅力についての評価</li> </ul>  | 15  |
| 8  | 特別評価       | (1) 新型コロナウイルス感染症対策を取り入れたイベントのモデルケースとなりうる事業   | +20 |
|    |            | (2) 千葉市内及び近隣の大規模イベントと連動した事業<br>(例)<br>・東京2020オリンピック競技大会開会式【7/23（金）】から、東京2020パラリンピック競技大会閉会式【9/5（日）】までに実施される事業<br>・MICEに関連した事業<br>・幕張メッセ等で開催される国際イベントに連動した事業など | +10 |
|    |            | (3) 「二次交通の整備」を取り入れた事業  | +5  |
| 合計 |            |  | 145 |

#### 4 審査方法

- (1) 委員は、第3項における審査基準に基づいて審査をし、主として評価の着眼点の内容について、評価項目毎に採点する。
- (2) 委員全員の合計点が6割以上に達したものを選定の対象とする。  
参加申込者が1者のみの場合は、委員全員の合計点が6割以上に達した場合に選定対象とする。
- (3) 合計点が同点となった場合は、以下の評価手順により選定する。
  - ア 「実現性」「継続性」の項目の合計点が高いこと。
  - イ 委員の議決により、より多数の委員から選定されること。
- (4) 応募事業が次の事項に該当した場合は、失格とする。
  - ア 「実現性」または「継続性」の項目において、全委員中少なくとも1人以上の委員における評価で4割以下の評価となった場合。

イ 評価項目ごとの委員全員の合計点で、2割以下の評価項目が1項目以上あった場合。

ウ その他、事業を遂行するに当たり、著しい問題があると市が判断した場合。

- (5) 審査結果は、市ホームページで公表する。ただし、支援を決定した事業のみを公表することとし、申込者には別途郵送により通知する。申込者本人が自らの審査内容について開示を希望する場合は、通知日より2週間以内に経済企画課へ来庁の上、その旨を申し出ることとし、その際は当該申込者が提出した事業計画における、各評価項目の合計点を開示する。

## 5 その他

この要領に定めるもののほか、審査に必要な事項は、審議会が別に定める。

### 附 則

この要領は令和3年4月21日から施行する。